

或る朝夢うつつの中で、太古、地球の回転は今よりずっと速かったというニュースを聞きました。忽ち、何万歳も生きた神々が、現身として現れたのです。

余りに長生きした古人は、架空の神仙に祭り上げられ、却って歴史書から葬り去られる運命にあるようです。

永田徳本も、百十八歳という長寿も手伝って、神医もしくは伝説上の人物として忘れ去られようとしています。

「法は越人長沙に求めよ」としながらも、新しい難病「梅毒」に、水銀等を使って、果敢に対処したのは、他ならぬ徳本でした。梅毒が初めて日本に上陸し、大流行した（一五二二年）翌年に、徳本は生まれたと言われています。名古屋玄医登場の百年以上も前のことです。

古人の生没年を検討するのは、学者にお任せして、私は、数少ない事蹟の中から、現身としての古人を偲び、初夢で請見したいと思っている者です。